

令和7年度 第2回 北星中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年9月24日（水）14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 北星中学校 校長室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、古山 照美、野中 美恵子、横田 明、澤田 ひろ子
伊藤 直孝、宮地 完登、松尾 剛志
- 4 欠席委員 米倉 保之
- 5 学 校 野中 崇（校長）、廣田 憲一（教頭）、鈴木 彰弘（教務主任）、
村松 美沙（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 村松 美沙
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、古山会長が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 令和7年度学校評価アンケートの質問項目について

10 会議記録

司会の鈴木（教務主任）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校評価アンケートの項目検討について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校評価アンケートの項目について説明があった。

<御意見>

- ・ICTの効果的な活用を進めていく中で、タブレットの活用についての項目を追加したらどうか。（野中委員）
- ・保護者用アンケートがすっきりして分かりやすい。（澤田委員）
- ・生徒用アンケート14「わたしは今、自分の夢や目標があり、充実した学校生活を送ることができている。」があるが、教員用アンケートにも「それに対して支援しているか」という項目をいれたほうが良い。（長谷川委員）

このアンケート項目は3年前に作られたもので令和5年度と6年度で比較ができた。アンケート項目数が生徒用14、保護者用12、教員用18となっており、質問数や質問内容の整合性があったほうがよいのではないかと感じている。（校長）

- ・アンケートは無記名なのか。（澤田委員）

さくら連絡網で実施しているので無記名ではない。（教務主任）

- ・生徒用アンケート「困ったことや悩みがあるとき、わたしは先生に相談しようと思う。」の回答で昨年度は「そう思わない」が28%だった。感情が多感な時に「記名式」と伝えることで相談しないと答えた人に声をかけやすいのではないかと。（横田委員）

1年間に実施するアンケートは「学校評価アンケート」だけではなく、「生活アンケー

ト」や「いじめアンケート」等色々なアンケートがある。どこかのアンケートに「困ったときに相談する人がいるか、いないか」「誰に相談するか（家族・先生・友達等）」という項目をいれて実態を知っても良いかと思う。（校長）

- ・保護者用アンケート1. 2. 3について、学校の授業の様子（学校は子供がわかりやすい授業をしているか、子供の興味や意欲を高めるような授業か等）を聞かれても「わからない」と答えてしまう。保護者が子供の様子を手に取るように見えるわけではない。（古山委員）

令和5年度は同じ質問で「わからない」と答えた方が多かったため、令和6年度は学級通信で様子を発信したり、学校公開日を4回増やした結果「わからない」の割合が減少し成果として表れたといえる。（校長）

- ・子供の性格によって家庭で学校の様子を話すかどうかもあるが、アンケートをきっかけに親と子供が話すようになれば良いと思う。（松尾委員）
 - ・情報を活用したグループでの議論や考える授業が多くなる中、子供用アンケートの中に「仲間の意見を聞き、自分の意見を伝えることができるか」という項目、教師用には「それに対して支援をしているのか」があってもよい。（長谷川委員）
 - ・生徒用アンケート項目14「夢や目標があるか」だけでなく、「目標に向かって行動しているか」に変えたほうが良い。（長谷川委員）
 - ・自分の夢については模索している子が多い。「自分の夢や目標があり」とすると、ない子は選択できなくなる。（松尾委員）
 - ・夢を見つけるために、色んな経験をさせてあげることの方が大切だと思う。（澤田委員）
- アンケート項目については、今の子供の実態を把握し適した項目で作らないといけな
いと感じる。愛知県豊明市ではスマホ条例ができて今の時代を反映しているし、掛川市
では小学校3年まで通信簿を廃止するというニュースが出ている。時代が変わってきて
昔ながらの質問では通用しないと感じる。保護者の立場として、聞いてほしい質問があ
れば教えてほしい。（校長）
- ・「夢」については学校経営書にかかれていることにリンクしているので必要かと思う。
（野中委員）

浜松市の教育理念が「描く夢や未来の実現」となっているので、経営書にも記載して
いる。夢を持たせるのは必要なことだが現状はすべての中学生には難しい。自己肯定感
を高めて自信をもたせたる学校経営が必要だと思っている。（校長）

- ・アンケートが次年度の経営計画や目標にリンクしていると考えたときに、どこまで変え
られるのか。「いつでも優しく相談できる先生」が良い一方で、個人的な意見として
は「宿題をもっと出してほしい」「先生に厳しく指導してほしい」と思っている保護者
がいると思うので質問として聞いてほしい。しかし、家庭によって要望や価値観も違っ
てくるし、聞いたところで変えられない現状もわかるので難しい。（宮地委員）
- ・先生に厳しく指導してほしいと思う保護者の方が意外と多いのではないかと。先生が何も
言えない状況をもう少し変えていければと感じる。（伊藤委員）

価値観が保護者によって違ってくるため難しい時代である。生徒への指導方法として、
子供が人に迷惑をかけたり間違ったことをしたときに、子供が納得した上で家に帰さな
いといけなと感じる。（校長）

「学校評価アンケート」については、現状を知り次年度に活かすために行っている。アンケートについては委員の意見をふまえて検討し、修正したものを事前にさくら連絡網にて提案する。委員はアンケートを確認いただいた上で、11月の第3回学校運営協議会に参加する。その後アンケートを完成させ12月に実施する。(教務主任)

11 報告

(1) 休日の部活動の地域展開について

10月に市からガイドラインが出た後に校内で検討。11月28日(金)に部活動保護者会を実施する。その後、部活ごとに休日の部活動について話し合いをしていく。令和8年9月から休日の部活動を先生が見なくなることは決定している。以前1年生に休日をどう過ごしたいかのアンケートをとったところ、半分以上が部活動に参加しないという結果がでた。生徒が休日の過ごし方を充実させるために、協働センターで中学生向けの講座ができないか要望したい。生徒にどのような講座を受けたいかのアンケートをとり、次の会議で協働センターの方をお招きし伝える機会とする。また、休日部活動の指導員については回覧板で2件回答があり、今後調整していく。(校長)

12 連絡

(1) 学校運営協議会の年間日程について

- 第1回 令和7年5月23日(金) 14時～16時 実施済
- 第2回 令和7年9月24日(水) 14時～16時 本日実施
- 第3回 令和7年11月19日(水) 14時半～16時半へ変更
北部協働センター、三方原協働センターの方がオブザーバーとして来校
- 第4回 令和8年2月4日(水) 14時～16時

(2) その他予定

11月19日(水) 13時20分～14時10分 はごろも夢講演会
鈴木孝幸氏(東京・パリパラリンピック水泳競技金メダリスト)
※委員観覧可。

12月17日(水) 10時30分～11時30分 企業講演
スズキ株式会社 熊瀧潤也氏
※委員観覧可。

以上